

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

国際アート&デザイン大学校

学校評価委員会

平成 29 年 7 月 10 日

「平成 29 年度学校関係者評価」の実施結果と今後の課題

1. 学校法人新潟総合学院 国際アート&デザイン大学校における「平成 29 年度 学校 関係者評価」は、平成 29 年 6 月 12 日に学内評価委員による自己点検評価を実施し、平成 29 年 6 月 19 日に教職員全員による自己点検評価の確認会を実施した。平成 29 年 7 月 10 日には、学校評価委員会を開催し広く意見交換を実施した。各委員からの意見を集約し、学校評価委員 3 名と学内評価委員 2 名の計 5 名で学校関係者評価を実施し、本書の通り報告書をまとめた。
2. 全国専門学校経営研究会版「作成マニュアル」の自己点検・評価基準をベースに自己点検・評価を行い、不備な点等の改善について今後の方向性を協議するとともに、次年度以降の取り組み課題を明確にした。
3. 平成 29 年度学校関係者評価を受け、一定の方向性を持って学校評価を進めていくことにより、質の保証・向上のなお一層の取組充 実が図れるよう努めていきたい。

学校関係者評価報告書（学校関係者評価委員会）報告

- 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標自己点検・評価項目
・教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等

建学の精神

「教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。」

教育方針

本校はデザイン・エンターテイメントにおける技術と知識の習得を基に実社会において優れた人材として活躍できる人間の育成を目標とする。

- ①デザイン・エンターテイメントにおける創造力及び実践技術の向上と育成
- ②豊かな人間性と礼節を重んじる社会人の育成
- ③建設的な強い意志を持ち行動力に富んだ人間の育成

校訓

誠実 明朗 進取

建学の精神を基礎に、教育方針、教訓等が明文化されており、学生の手引き、学校パンフレット、ホームページ上でも公表されている。保護者会等の行事で配布する資料等においても、積極的に教育目的・目標を公表している。

課題である年間学校行事スケジュール公表は、ホームページに予定表のページを作り公開をはじめている。

【委員からの意見】

「1 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標」についての意見等はなかった。

2 教育の内容 自己点検・評価項目

・教育カリキュラムの作成について

「職業実践専門課程」の設置により、学科毎に教育課程編成委員会を設置して特色ある企業連携実習・演習カリキュラムが構築出来る組織体制が強化された。

年2回の教育課程編成委員会を開催し、業界の動向や委員からの意見を収集し、実習内容を振り返りによってカリキュラムを見直す組織体制が整ってきている。今後も更に実践的な教育課程を検討し改善を図っていく。

【委員からの意見】

・継続課題として。職業実践専門課程の取り組みが進んでいるが、実習での連携企業のみならず地元企業、業界団体との連携によるインターシップを更に多く実施して地元就職できる仕組みに努めて頂きたい。

・カリキュラムの作成等の取り組みについて

年間のカリキュラム予定とシラバスにより講義内容が作成されており、学生や保護者にも学科ごとの概要が配布されている。継続の課題としてはコマシラバスの作成であり詳細な講義要綱等は配布されていないのが現状である。コマシラバスは一部の科目で試験的に作成されており全学科に広めていきたい。

【委員からの意見】

・大学等では公開が進んでいると聞いている。継続して検討し取り組んでほしい。

・教授学習プロセスの改善への取り組みについて

学生によるアンケートや授業評価の結果に基づく、教員からの報告・改善計画の作成および学校側の改善活動は、教育上必要不可欠である。学生の授業評価は、今後も実施して指導・改善していくことはもちろんのこと、評価の結果を授業改善に活かすという観点から、管理職によるフィードバックの実施を今後も継続し、教育の質向上に努める。

・業界ニーズに対応した付加的教育について

リメディアル教育の取り組みについては、多種多様な学生への対応及び学生個々の能力を伸ばすための大切な教育である。また、就職活動の一環として企業での職場実習（インターシップ）を実施している。他の高等教育機関との連携講座については、ワークショップイベント的に開催することは出来ているので継続していく。学生同士の国際交流は年々回数が増えているので内容を充実させていきたい。地域・行政との産学官連携は実績多数である。

【委員からの意見】

・産学官連携事業はメディアにも取り上げられており素晴らしい取り組みだと思う。継続して頂きたい。

・教員の資質維持や向上について

学校法人内での集合研修は計画的に実施されてきたが外部機関で最新技術取得及び指導力向上に繋がる研修への参加を増やし、多角的な面での教職員育成を目指していきたい。

【委員からの意見】

・教職員の不始末の様な話も多くなっている。専門学校においてもモラル向上に積極的に研修を実施して頂きたい。

3 教育の実施体制 自己点検・評価項目

・教育環境の整備・活用について

学内外実習時の安全対策については、学科ごとの実習指導時に配布文書で説明している。今

後は学生の手引きにも記載する。

4 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目

・教育目標達成への取り組みと評価について

退学者数の公表については、保護者会資料等での公表のみとなっている。

卒業1年後の就業状況の把握については不十分な点があったので、同窓会の案内はがきにより把握に努めた。今後も企業訪問や同窓会等でその把握に努める必要があるが、公開については検討を続ける。

【委員からの意見】

・退学率の目標、結果の検証・報告、公表についても、ホームページ等での公表を検討するなど工夫が必要である

・卒業1年後の就業の把握・公表については対応が不十分であり、企業訪問や同窓会等を利用して、その把握に努める必要がある。

・早期離職を防ぐためにも、就職の動機付けと職場体験の機会を増やすことが必要だと思う。今後も継続して地元経済団体との連携を活用してほしい。

5 学生支援 自己点検・評価項目

・上記以外を通じての学生支援について

保護者の会及び企業の会はまだ組織化されていない。今後は FSG カレッジリーグのグループ校と連携を図り検討課題とする。グループ校には「連合会」の組織も構築されており、各校友会会長からの意見を取りまとめて対応したい。

6 社会的活動 自己点検・評価項目

・社会活動への取組について

地域における社会活動や社会貢献、ボランティア活動を学校全体として、年度計画に基づき実施している。年度途中でも地域・企業などからの依頼や自主的ボランティアにも取り組んでいる地域貢献活動やボランティア活動等は積極的に取り組んでいる。小学生・中学生向けの「お仕事体験」講座の実施や、地域の小学校、中学校、高校からの学校訪問を積極的に受け入れており、出前講座も実施している。

7 管理運営 自己点検・評価項目

これまでの整備課題であった防犯システム設置が完了した。

8 財務 自己点検・評価項目

法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

9 改革・改善 自己点検・評価項目

自己点検評価表にとらわれず、学校運営に関する改善点を今後も提案していく方向性である。委員から指摘された改善点への対応については、年度目標として期限があるものについては速やかに対応し、それ以外は継続的に改善へ向けた対応を進めることとする。

今後も学校評価については、自己点検を速やかに実施するとともに全職員で共有する機会を設け、学校評価委員とともに改善項目の取り組みについて継続的に確認を行うこととする。

以上。